

福岡 PT・OT・ST3 士会合同研修会活動報告

令和 6 年 2 月 7 日

福岡県言語聴覚士会 社会局 古賀翔

【第 1 回リハビリ職種における災害リハ研修会】

開催日時：令和 6 年 1 月 14 日 日曜日 10 時 00 分～12 時 30 分

方法：現地、ウェビナーを用いたハイブリット開催

会場：JR 博多シティ会議室 9 階会議室（3）

研修内容：

第一部 福岡県災害リハの概要について（講師；赤津嘉樹先生、竹中祐二先生）

第二部 災害リハ支援の基礎と実際～合言葉は CSCARIC～（講師；三宮克彦先生）

今年度より福岡県理学療法士会、作業療法士協会、言語聴覚士会 3 士会合同での災害リハ研修会がスタートしました。毎年のように見舞われる災害に対して、リハビリ専門職としての支援体制づくりを行っていくことが目的です。

今年度は記念すべき第 1 回ということで、第一部は福岡 JRAT 副代表の赤津嘉樹先生、事務局長の竹中祐二先生より、第二部は熊本機能病院の三宮克彦先生よりご講演いただきました。参加者は PT 士会 124 名、OT 士会 32 名、ST 士会 4 名、計 160 名で、反響も大きく参加者の 9 割の方が内容に満足いただきました。

第一部では、災害リハの概要と福岡県における災害支援体制の現状を詳しく説明いただき、初めて災害リハを学ぶ方にも優しい内容であったと思います。また、福岡県には JRAT 以外にも様々な支援チームがあり、実際の災害時には多団体と協力し災害支援に当たっていくこととなります。リハ職種としての専門性とは他職種の理解が必要であることを強調されていました。また、実際災害支援の派遣となった場合は、福岡県との協定締結が必須条件となります。今後の福岡 JRAT の最優先課題は福岡県との協定締結に向け準備を進めていくこととなるそうです。

第二部では、さらに具体的な現場での災害リハ支援についてご講演いただきました。講師である三宮先生は PT として東日本大震災や熊本地震など全国で災害が起こった際、支援に従事されその経験をもとに著書や災害リハシミュレーションゲームの開発も手掛けられています。災害リハ支援の最大の目的は、災害関連死を予防していくことです。具体的には生活不活発を防ぎ、高齢者や障がい者など要配慮者支援を災害直後の混乱期～数か月・年単位の復興期まで長期にわたって継続していきます。これまで日本は多くの災害を経験し、その経験を活かしアップデートした支援体制を構築しているとのことでした。実際、三宮先生は 1 月 1 日に起こった能登半島地震直後から支援へ赴き研修会直前まで支援されていました。実際の支援状況を交えながらリアルタイムな講演であったため、会場に参加された受講

者も真剣な面持ちで聴講されていました。

今回の研修会開催にあたり、8月より各士会の担当者と zoom 会議を重ね、準備を進めてまいりました。今回は OT 士会が主担当として、初回の大役を担っていただき、大変な役回りにも関わらずスムーズな議事進行で会議内容をまとめていただき準備は滞りなく行えました。また、PT 士会は当日の WEB 配信であるウェビナーなど機器類の整備や研修会場調整など担当され、研修会開催のノウハウの充実さを感じました。我々 S T 士会からは、当日の司会を大森先生（社会局）、開会の挨拶を吉永副会長に行っていただきました。今回 3 士会合同事業を始めて経験し、それぞれの士会の事情等は異なりますが強みを生かした研修会企画運営ができたと感じました。来年度は S T 士会が主担当となります。災害対策委員を中心に研修会準備を進めますので、会員の皆様も奮って参加お願いいたします。